

病院院長挨拶



富山市立富山市民病院
院長 石田 陽一

2月にインフルエンザのアウトブレイクによる病棟閉鎖が相次ぎ先生方にはご迷惑をおかけしましたが、病棟は平常に戻り、4月から新しい医師も迎えて、職員一同張り切って仕事をしています。

脳神経外科には血管内治療の第一人者である毛利正直先生を迎え、呼吸器内科は石浦部長の後が空席となっていました。野村智先生が着任しました。いずれも、私の高校の後輩になり、富山に骨を埋めるつもりで来てくれたものと思っています。6月19日には恒例の地域連携の会で講演してもらうことになるかと存じますので宜しくお願いします。

平成29年度の紹介率は65.5%、逆紹介率は103.6%と多くの患者さんをご紹介いただき、確実に地域の先生方にお返ししています。しかしながら、返書につきましては、まだまだ問題があり、ご満足いただけていないのではないかと危惧しております。そのため、今年度は返書が適時にお手元に届くように改善を進めております。また、地域の先生方のご要望に即時にお応えするため、昨年度末から内科系の紹介患者さんの受け入れがさらに円滑になるように取り組んでおります。まずは、ふれあい地域医療センターにご相談ください。

今年度もよろしく願い申し上げます。

平成30年4月

平成30年度 富山市民病院

地域連携の会 講演会・懇親会のご案内

日時：平成30年6月19日(火) 19:30~

場所：ANAクラウンプラザホテル

内容：①講演会

「脳血管障害に対する脳血管内治療」

富山市民病院脳神経外科部長

毛利 正直

②懇親会

先月号にもお知らせいたしましたが平成30年度 富山市民病院 地域連携の会を下記のとおり開催いたします。地域の先生方と当院の医師との意見交換を身近に行える一年に一度の機会として、職員一同楽しみにしております。登録医の先生方には別途ご案内いたしますが、是非お越しいただきますようよろしくお願い申し上げます。

病院院長挨拶



富山市立富山市民病院
院長 石田 陽一

2月にインフルエンザのアウトブレイクによる病棟閉鎖が相次ぎ先生方にはご迷惑をおかけしましたが、病棟は平常に戻り、4月から新しい医師も迎えて、職員一同張り切って仕事をしています。

脳神経外科には血管内治療の第一人者である毛利正直先生を迎え、呼吸器内科は石浦部長の後が空席となっていました。野村智先生が着任しました。いずれも、私の高校の後輩になり、富山に骨を埋めるつもりで来てくれたものと思っています。6月19日には恒例の地域連携の会で講演してもらうことになるかと存じますので宜しくお願いします。

平成29年度の紹介率は65.5%、逆紹介率は103.6%と多くの患者さんをご紹介いただき、確実に地域の先生方にお返ししています。しかしながら、返書につきましては、まだまだ問題があり、ご満足いただけていないのではないかと危惧しております。そのため、今年度は返書が適時にお手元に届くように改善を進めております。また、地域の先生方のご要望に即時にお応えするため、昨年度末から内科系の紹介患者さんの受け入れがさらに円滑になるように取り組んでおります。まずは、ふれあい地域医療センターにご相談ください。

今年度もよろしく願い申し上げます。

平成30年4月

平成30年度 富山市民病院

地域連携の会 講演会・懇親会のご案内

日時：平成30年6月19日(火) 19:30~

場所：ANAクラウンプラザホテル

内容：①講演会

「脳血管障害に対する脳血管内治療」

富山市民病院脳神経外科部長

毛利 正直

②懇親会

先月号にもお知らせいたしましたが平成30年度 富山市民病院 地域連携の会を下記のとおり開催いたします。地域の先生方と当院の医師との意見交換を身近に行える一年に一度の機会として、職員一同楽しみにしております。登録医の先生方には別途ご案内いたしますが、是非お越しいただきますようよろしくお願い申し上げます。



研修・講演・勉強会のご案内

5月分

1. 地域連携症例検討会

※今回より会の名称を変更しました。先生方のご参加お待ちしております。参加申し込みは不要です。

日時：5月8日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：『難治性精神疾患患者に対するAssertive Community Treatment』

精神科 長谷川雄介

当院精神科は病床50床であるが、かつては100床で長期入院患者も少なからず認めた。そのような経緯もあり、平成18年10月より、病床削減に応じて包括型地域生活支援プログラム（以下ACT）を行っている。ACTとは24時間365日対応の生活の場に行くアウトリーチであり、看護師、精神保健福祉士、作業療法士という多職種によるチームアプローチを行っている。服薬や通院を中断し、症状が再燃しやすい患者や生活能力が低下している患

者、家族の支援が難しい患者などのもとに訪問を行っており、現在は全32名の患者が登録されている。うち統合失調症圏が24名と最も多く、ついで気分障害圏が6名、単身生活者は全13名である。18名の患者が無職であるが、一般就労を行っている者も5名いる。導入以来、病棟の平均在院日数は平成19年度が59.0日だったのが平成28年度は35.3日に低下しているが、訪問スタッフに余裕がなく、人員の増員が期待される。

2) 症例検討（2例）

①『腱反射が保たれていたギランバレー症候群の1例』

神経内科 村松 大輝

②『汎血球減少にて当院に紹介となり血液内科で骨髄異形成症候群と診断され積極的治療は行わずに緩和ケア病棟で輸血を行いながら姉妹で穏やかに過ごされた92歳女性』

緩和ケア内科 船木康二郎

予告

富山市民病院 地域連携の会

日時：平成30年6月19日(火) 19:30~21:30

場所：ANAクラウンプラザホテル 富山

内容：①講演会 演題：脳血管障害に対する脳血管内治療／講師：富山市民病院脳神経外科 毛利 正直
②懇親会

2. 内科CPC

日時：5月8日(火) 17:30~

場所：医局カンファレンス室

3. 緩和医療委員会 講演会

日時：5月11日(金) 17:45~19:00

場所：講堂

○テーマ：富山市民病院の緩和ケア～患者、家族、スタッフ、地域のニーズに応えるために～

○内容と講師：

- (1) 今日の緩和ケア
緩和ケア内科医師 桶口 史篤
- (2) 緩和ケアチーム・緩和ケア外来
緩和ケア認定看護師 金丸 修子
- (3) 緩和ケア病棟
緩和ケア認定看護師 島 佳子
- (4) 当院が行う緩和ケアの取り組み
緩和ケア内科医師 船木康二郎

4. NST学習会

日時：5月28日(月) 17:30~19:00

場所：講堂

○テーマ：①オリエンテーション
②栄養スクリーニング
(アセスメント/身体測定)
③血液検査項目

○講師：①医師 藤村 隆
②看護師(NST専門療法士) 荒江 陽子
③臨床検査技師(NST専門療法士) 堀江 妙子

5. 褥瘡対策学習会

日時：5月25日(金) 17:45~19:00

場所：集団指導室

○テーマ：褥瘡の定義・褥瘡の評価
○講師：皮膚科医師 野村 佳弘

6. 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：5月16日(水) 17:30~18:30

場所：看護外来

○テーマ：呼吸管理シリーズ
一般病棟での人工呼吸器装着患者のケアに伴うME機器の理解

日時：5月30日(水) 17:30~18:30

場所：看護外来

○テーマ：呼吸管理シリーズ
最新呼吸療法のエッセンスシリーズ
～人工呼吸器離脱のプロトコルを利用した呼吸ケア戦略

※お知らせ

- ・6月よりS-QUEの集合研修を取りやめ、予約制とします。
- ・視聴可能日は、月・木(祝祭日を除く)の14時~16時です。
- ・希望日の2週間前までにふれあい地域医療センターへ電話でご連絡ください。折り返し、申込み用紙をFAXいたします。また、同施設で複数人数となる場合は、なるべく日時を合わせて申し込みください。
- ・予約された方は研修会当日、2階 看護科事務室へお越しください。
- ・詳しくはホームページをご覧ください。

《新任看護職員研修》※調整中の研修のご案内です

7. 救急蘇生 (定員となったため、申込みを締め切りました)

日時：6月28日(木) 13時~17時

場所：講堂

8. レスピレーター

日時：10月30日(火) 13時~17時

場所：講堂

- 医療機器研修会
 - 糖尿病研究会定例学習会
 - 感染予防対策学習会
 - 接遇力向上研修会
- ※今月の開催はありません。



院内の専門職員のご紹介



慢性心不全看護認定看護師

加藤美加代

「心不全と共に生きる」を支えます

『心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだんと悪くなり、生命を縮める病気です。』これは、心不全について理解してもらうために「心不全の定義」として2017年に日本循環器学会と日本心不全学会から発表されたものです。

心不全による5年生存率は50%と予後は決して良くはありません。心不全はがんと同等あるいはそれ以上に重篤な病気です。患者さまだけでなく、健康な方を含め心不全に対する正しい理解を得ることが重要となります。

心不全に携わる看護師の役割として、心不全を持ちながらその人らしく質の高い生活を送るための生活調

整や、再発予防のための療養支援、支える家族への相談などがあります。心不全に対する理解を得るためには入院中だけでなく退院後の生活を支える地域の方々の協力は不可欠です。再入院を予防しながら、基盤である地域での生活を支え正しい療養行動がとれるよう情報を共有しながら尽力していきたいと考えています。

今後は入院中だけでなく退院前、退院後訪問で連携をとりながら患者さまを支えていき、ご要望があれば心不全に対する学習会やカンファレンスなども行っていきたいと考えております。今後とも活動にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

5月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	家城	23日、24日	呼吸器・血管外科	瀬川	16日、17日
	寺崎靖	18日		土岐	17日、18日、24日、25日
	芝	14日		嶋田	17日
	西野	11日	麻酔科	五十嵐	17日
外科・消化器外科 乳腺外科	吉川	16日、18日	榎本	18日	
	萩野	18日	小児科	加藤	31日
整形外科・ 関節再建外科	澤口	25日	歯科口腔外科	寺島	15日、16日、17日
	五嶋	7日、8日、10日、24日		高市	31日
	重本	25日			
精神科	長谷川	25日			

※その他、急に不在となることがありますので
ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。
TEL 076-422-1112 (代) 内線 2168

編集後記

新年度を迎え、今年度も広報誌「れんけいと支援」を発刊し、地域医療機関・施設の皆様に読んでいただけることに感謝しています。少しずつ内容に変化を加え、どのように掲載すれば『市民病院の力』をお伝えできるか、地域医療機関・施設の皆様に役に立てるかと、編集委員と原稿の担当者が日々奮闘しております。

今年度は、診療報酬改定もあり、ふれあい地域医療センターの果たす役割がさらに大きくなるものと感じております。スタッフ一丸となって頑張っていきたいと思っている今日この頃です。

ふれあい地域医療センター 石崎 華代



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp



研修・講演・勉強会のご案内

5月分

1. 地域連携症例検討会

※今回より会の名称を変更しました。先生方のご参加お待ちしております。参加申し込みは不要です。

日時：5月8日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：『難治性精神疾患患者に対するAssertive Community Treatment』

精神科 長谷川雄介

当院精神科は病床50床であるが、かつては100床で長期入院患者も少なからず認めた。そのような経緯もあり、平成18年10月より、病床削減に応じて包括型地域生活支援プログラム（以下ACT）を行っている。ACTとは24時間365日対応の生活の場に行くアウトリーチであり、看護師、精神保健福祉士、作業療法士という多職種によるチームアプローチを行っている。服薬や通院を中断し、症状が再燃しやすい患者や生活能力が低下している患

者、家族の支援が難しい患者などのもに訪問を行っており、現在は全32名の患者が登録されている。うち統合失調症圏が24名と最も多く、ついで気分障害圏が6名、単身生活者は全13名である。18名の患者が無職であるが、一般就労を行っている者も5名いる。導入以来、病棟の平均在院日数は平成19年度が59.0日だったのが平成28年度は35.3日に低下しているが、訪問スタッフに余裕がなく、人員の増員が期待される。

2) 症例検討（2例）

①『腱反射が保たれていたギランバレー症候群の1例』

神経内科 村松 大輝

②『汎血球減少にて当院に紹介となり血液内科で骨髄異形成症候群と診断され積極的治療は行わずに緩和ケア病棟で輸血を行いながら姉妹で穏やかに過ごされた92歳女性』

緩和ケア内科 船木康二郎

予告

富山市民病院 地域連携の会

日時：平成30年6月19日(火) 19:30~21:30

場所：ANAクラウンプラザホテル 富山

内容：①講演会 演題：脳血管障害に対する脳血管内治療／講師：富山市民病院脳神経外科 毛利 正直
②懇親会

2. 内科CPC

日時：5月8日(火) 17:30~
場所：医局カンファレンス室

3. 緩和医療委員会 講演会

日時：5月11日(金) 17:45~19:00
場所：講堂

○テーマ：富山市民病院の緩和ケア～患者、家族、スタッフ、地域のニーズに応えるために～

○内容と講師：

- (1) 今日の緩和ケア
緩和ケア内科医師 桶口 史篤
- (2) 緩和ケアチーム・緩和ケア外来
緩和ケア認定看護師 金丸 修子
- (3) 緩和ケア病棟
緩和ケア認定看護師 島 佳子
- (4) 当院が行う緩和ケアの取り組み
緩和ケア内科医師 船木康二郎

4. NST学習会

日時：5月28日(月) 17:30~19:00
場所：講堂

○テーマ：①オリエンテーション
②栄養スクリーニング
(アセスメント/身体測定)

③血液検査項目
○講師：①医師 藤村 隆
②看護師(NST専門療法士) 荒江 陽子
③臨床検査技師(NST専門療法士) 堀江 妙子

5. 褥瘡対策学習会

日時：5月25日(金) 17:45~19:00
場所：集団指導室

○テーマ：褥瘡の定義・褥瘡の評価
○講師：皮膚科医師 野村 佳弘

6. 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：5月16日(水) 17:30~18:30
場所：看護外来

○テーマ：呼吸管理シリーズ
一般病棟での人工呼吸器装着患者のケアに伴うME機器の理解

日時：5月30日(水) 17:30~18:30
場所：看護外来

○テーマ：呼吸管理シリーズ
最新呼吸療法のエッセンスシリーズ
～人工呼吸器離脱のプロトコルを利用した呼吸ケア戦略

※お知らせ

- ・6月よりS-QUEの集合研修を取りやめ、予約制とします。
- ・視聴可能日は、月・木(祝祭日を除く)の14時~16時です。
- ・希望日の2週間前までにふれあい地域医療センターへ電話でご連絡ください。折り返し、申込み用紙をFAXいたします。また、同施設で複数人数となる場合は、なるべく日時を合わせて申し込みください。
- ・予約された方は研修会当日、2階 看護科事務室へお越しください。
- ・詳しくはホームページをご覧ください。

《新任看護職員研修》※調整中の研修のご案内です

7. 救急蘇生 (定員となったため、申込みを締め切りました)

日時：6月28日(木) 13時~17時
場所：講堂

8. レスピレーター

日時：10月30日(火) 13時~17時
場所：講堂

- 医療機器研修会
 - 糖尿病研究会定例学習会
 - 感染予防対策学習会
 - 接遇力向上研修会
- ※今月の開催はありません。



院内の専門職員のご紹介

「心不全と共に生きる」を支えます



慢性心不全看護認定看護師
加藤美加代

『心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだんと悪くなり、生命を縮める病気です。』これは、心不全について理解してもらうために「心不全の定義」として2017年に日本循環器学会と日本心不全学会から発表されたものです。

心不全による5年生存率は50%と予後は決して良くはありません。心不全はがんと同等あるいはそれ以上に重篤な病気です。患者さまだけでなく、健康な方を含め心不全に対する正しい理解を得ることが重要となります。

心不全に携わる看護師の役割として、心不全を持ちながらその人らしく質の高い生活を送るための生活調

整や、再発予防のための療養支援、支える家族への相談などがあります。心不全に対する理解を得るためには入院中だけでなく退院後の生活を支える地域の方々の協力は不可欠です。再入院を予防しながら、基盤である地域での生活を支え正しい療養行動がとれるよう情報を共有しながら尽力していきたいと考えています。

今後は入院中だけでなく退院前、退院後訪問で連携をとりながら患者さまを支えていき、ご要望があれば心不全に対する学習会やカンファレンスなども行っていきたいと考えております。今後とも活動にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

5月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	家城	23日、24日	呼吸器・血管外科	瀬川	16日、17日
	寺崎靖	18日		土岐	17日、18日、24日、25日
	芝	14日		嶋田	17日
	西野	11日	麻酔科	五十嵐	17日
外科・消化器外科 乳腺外科	吉川	16日、18日	榎本	18日	
	萩野	18日	小児科	加藤	31日
整形外科・ 関節再建外科	澤口	25日	歯科口腔外科	寺島	15日、16日、17日
	五嶋	7日、8日、10日、24日		高市	31日
	重本	25日			
精神科	長谷川	25日			

※その他、急に不在となることがありますので
ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。
TEL 076-422-1112 (代) 内線 2168

編集後記

新年度を迎え、今年度も広報誌「れんけいと支援」を発刊し、地域医療機関・施設の皆様に読んでいただけることに感謝しています。少しずつ内容に変化を加え、どのように掲載すれば『市民病院の力』をお伝えできるか、地域医療機関・施設の皆様に役に立てるかと、編集委員と原稿の担当者が日々奮闘しております。

今年度は、診療報酬改定もあり、ふれあい地域医療センターの果たす役割がさらに大きくなるものと感じております。スタッフ一丸となって頑張っていきたいと思っている今日この頃です。

ふれあい地域医療センター 石崎 華代



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp